



PRESS RELEASE

報道関係各位

2018年7月6日

**カリフォルニアワイン協会 (California Wine Institute)
新しい日本事務所が業務を開始
扇谷まどかと手島孝大が共同代表に就任**

カリフォルニアワイン協会 (California Wine Institute、略称 CWI) が日本市場における新たな業務委託先として任命した株式会社日本アド(東京都新宿区)が、7月2日(月)より日本事務所としての業務を開始し、同日に扇谷(おおぎや)まどかと手島孝大(てじまたかひろ)が共同代表に就任しました。

今回の任命は、本年初旬に配布した提案依頼書(RFP)に基づき提出された数多くの提案書の中から、厳格な選考過程を経て決定されたものです。株式会社日本アドは、提案活動を通じて、情熱、前向きな思考、デジタルコミュニケーションへの深い理解、そして幅広い業界関係者と協力的な関係を構築するために必要な資質を持つことを証明し、それが今後の日本市場におけるカリフォルニアワインのカテゴリ推進を担う企業として相応しいと判断されました。

株式会社日本アドは1969年設立のクリエイティブエージェンシーであり、これまで、食品、ベビー用品、輸入自動車、輸入バイク、外国大使館、各種団体など数多くのクライアントをサポートした経験を有しています。社内はプランニング、コピー、デザイン、デジタル、プロデュースのエキスパートで構成され、トータルなクリエイティブサービスを提供しています。

扇谷まどかは、ワイン業界で幅広く知られるワインプロフェッショナルであり、ダイナミックな経営者です。彼女とカリフォルニアワインとの関係は、日本航空ロサンゼルス空港支店勤務のため同州で過ごした1990年代前半に遡ります。そこで出会ったワインがきっかけとなり、のちに The Opener 株式会社を設立し、ワインバーを2店舗経営するなど順調に発展させました。現在、WSET レベル 4 ディプロマ[※]の有資格者であり、世界のワインに精通しています。

※Wine and Spirits Education Trust (WSET) はロンドンに本部を置く世界最大のワイン教育機関であり、ディプロマは4段階ある認定資格の最上位。ワインとスピリッツに関する深い知識とビジネス的な側面や専門家として確かな評価ができる能力が求められる。

手島孝大は、ロサンゼルスにあるクレアモント・マッケナ大学を卒業後、大手飲料会社の米国法人、外資系戦略コンサルティング会社などを経て、直近の10年間はワインオーストラリアのアジア太平洋地域代表として、日本を含むアジア各国における豪州ワインのプロモーション(業界及び消費者向け試飲会、バイザグラス・プロモーション、トレード及びメディア招聘旅行の企画等)、教育活動(公認ワインスクール、試飲セミナー等)やアンバサダープログラムの展開などにおいて、その手腕を発揮しました。

新たな日本代表の任命は、カリフォルニアワインにとって世界第4位の輸出相手国である日本の重要性和優先市場としての位置づけの現れです。

CWI 国際マーケティング担当ヴァイス・プレジデントのリンジー・ギャラガーは、次のように述べています。

「カリフォルニアワインにとって非常に重要な日本市場で新たな業務委託先と代表を発表できることを大変うれしく思います。当協会及び 175 以上の輸出プログラムメンバーワイナリーは、今後も日本を優先市場として位置づけ、これまで 25 年以上続けてきたカリフォルニアワインのプログラムや活動への投資を継続することにコミットしています。今後、カリフォルニアワインの販促活動をリフレッシュし、活性化して参ります。日本のワイン業界関係者、報道関係者の皆様方と協力し、また消費者の皆様方にも、カリフォルニアワインの幅広い多様性と品質を訴求していきますので、今後ともご支援のほどよろしくお願ひします。」

日本国内でのカリフォルニアワインのプレゼンスを最大化するため、カリフォルニアワイン協会日本事務所は、今後、ナパヴァレー・ヴィントナーズ (Napa Valley Vintners、略称 NVV) 日本事務所 (駐日代表: 小枝絵麻、若下静) と密接に協力していきます。

ワイン & フードコンサルタントとしても活躍する小枝絵麻は、今後、NVV 駐日代表を継続しながら、カリフォルニアワイン全体の「公認フードペアリング講師」として、セミナー等を通じて、カリフォルニアワインと料理とのペアリングについての知識啓発活動を担います。

カリフォルニアワイン協会日本事務所は、今後、NVV に限らず、他のカリフォルニア州ワイン生産者組合との相互協力も推進していきます。

今後の活動や新事務所に関する更なる詳細は、本日 7 月 6 日 (金) 午後に東京で開催したインポーターズ・ミーティング兼メディア発表会にて発表しました。今期中に実施を予定している活動には、以下が含まれます。

- カリフォルニアドリーミングツアー (9 月上旬)
- カリフォルニアワイン・グランドテイスティング (10 月 29 日)
- バイザグラス・プロモーション (来春)、など

カリフォルニアワイン協会 (本部・カリフォルニア州サンフランシスコ) は、1,000 社を超えるカリフォルニアのワイナリー及びワイン関連企業から構成される非営利団体で、ワインの生産や流通、消費に関しての政策的な提言を行っています。

輸出プログラムにおいては、世界 13 カ国に事務所を置き、重要な市場情報の提供及びプロモーションを支援しています。ワイン業界関係者・メディア・消費者向け試飲会の実施などをサポートしており、毎年 175 以上のカリフォルニアのワイナリーが当プログラムに参加し、138 か国にワインを輸出しています。日本事務所は、カリフォルニアワインの普及促進、日本市場における関税、非関税障壁の監視などを目的に 1985 年に設立されました。

以上

この件に関する読者からのお問合せ先
カリフォルニアワイン協会日本事務所
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-26
E-mail: japan@discovercaliforniawines.com
電話番号: 03-3208-5672

この件に関する報道関係者様からのお問合せ先
KONDO SAORI OFFICE 近藤さをり
E-mail: saori@saorikon.com
電話番号: 080-7011-5747